

# 佐野日大 4強



ベスト4進出を決め、高らかに  
校歌を響かせる佐野日大ナイン  
31日午後、甲子園

## 下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号  
〒320-8686

下野新聞社

電話 028-625-1111

郵便振替口座 00180-1-623433

©下野新聞社2014

読者室 028-625-1179

(受付 月～金・午前10時～午後6時)

編集局 028-625-1121

販売 028-625-1120 (販売)

事業局 028-625-1134 (事業・教育)

営業局 028-625-1133 (広告)

PC・スマホ・携帯でも

下野新聞 検索

下野新聞購読お申し込みは

0120-810081

## 電子号外

## 稲葉決勝打 2戦連続、延長制す

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計
佐野日大	1	1	2	0	0	0	1	0	0	0	2	7
明德義塾	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	5

### 選抜高校野球

第86回選抜高校野球大会  
第10日は31日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で準々決勝を行い、本県から7年ぶり4度目出場の佐野日大は延長十一回の熱戦の末、明德義塾(高知、3年ぶり15度目)に7-5と競り勝ち、春夏通じて初の4強入りを果たした。

5-5で迎えた延長十一回表、佐野日大は2死満塁と攻め立てると稲葉恒成、小泉奎太が連続適時打を放って2点を奪い、勝利をつかみ取った。

初回到吉田叡生の右中間適時打で先制。追い付かれた二回には佐川昌の右中間適時二塁打で勝ち越し、三回は田村海斗、柿沢郁也の連続タイムリーと序盤を優位に進めた。逆転された七回は重盗で1死二・三塁と好機を広げ、稲葉の浅い左飛

で三走・長沢吉貴が判断良く本塁を陥れた。先発の田嶋大樹は、六回に5連打を浴びて4点を失い一時は逆転された。だがその後はバックの好守にも助けられ、粘り強く投げ抜いた。

佐野日大は4月1日の準決勝(午後1時半開始予定)で、桐生第一(群馬、7年ぶり4度目)―龍谷大平安(京都、2年連続38度目)の勝者と決勝進出を懸け激突する。

**全員が一つに**

佐野日大・松本弘司監督の話 ここまで来られると、思っておらず、感激している。稲葉が執念でよく打ってくれた。全員が一つになつて最後まで粘る形ができており、監督としてもうれしい。

下野新聞購読お申し込みは  
フリーダイヤル  
0120-810081

携帯で、スマホで栃木のニュースを!!

下野新聞  
SOON  
月額  
250円+税

下野新聞 検索